

夏休み合同子ども会



シュウマイ先生（写真左）とアヤシイ大会委員長（写真右）

去る八月六日、蔵本通支坊で夏休み合同子ども会が行われました。

命はつながっている

今年、久しぶりに龍谷大学伝道部から「よ

ちゃん」こと藤本陽介先生と「シュウマイ」こと橋本秀円先生が来てくれました。おつとめの後はご法

話。当日は八月六日で原爆の日。広島出身の「よちゃん」が、原爆の話とお浄土にいるという「共命鳥」の話をしてくれました。



本堂お内陣のどこかに共命鳥が彫つてあります。普段入れないお内陣をみんな探検

頭が二つで胴体がひとつのこの鳥は、文字通り「命を共にする鳥」。でもちよつとしたことからケンカになり、片方が残りに毒を飲ませてしまいます。身体はひとつですから、両方も命

を落としてしまうというお話です。命はつながっていて、相手を傷つけると結局自分も傷つくんですね。よちゃん、

室内オリンピック

ご法話の後は、ゲーム。



聖火だっただけ

今年はロンドンオリンピックの年でしたが、お寺でも二班に分かれて室内オリンピック。色んなゲームでもり上がりました。今年は特に、お行儀とかもり上がりとかで班の得点がプラスになり、子どもは遊びながら大切なことも学ばせてもらいました。



ゲームでもり上がる子供たち。

昼ご飯の後は、お楽しみのかき氷食べ放題。つまりお代わり無制限。イチゴ・レモンなどのシロップも、かけ方は自由。シロップが

まぎって変な色になったのを笑いながら食べている子どもや、これで六杯目だと言っている子もいました。お腹をこわさなかつたでしょうか。



かき氷食べ放題だぜ。ワイルドだろ？



遠く広島市から参加してくださった元中さんご一家。

さる吉と黒ブー

お腹がいっぱいになったところで人形劇。さる吉は、遊んでいてうっかりお寺の窓ガラスを割ってしまいました。怒られまいと友だちの黒ブーが割ったとついウソをついてしまいます。ウソをつかれた黒ブーはど

んな気持ちだったでしょう。サル吉の方もウソをついてその場はしのいだものの、罪悪感で胸が痛み続けます。そこにいつものお坊さんが登場。さる吉は、お坊さんとのやりとりを通して大切なことに気づいてゆきます。色々学び、楽しく遊んだ一日でした。



人形劇の様子。会場の子どもらと対話しながら劇が進んでゆく。

歓喜会・初盆法要

浄土真宗ではお盆を歓喜会といいます。長ノ木本坊では、歓喜会期間中の十四日・十五日、初盆法要がとまりました。お盆休み中ということもあって、ご家族に連れられて若いご方もたくさんお参りされ、ご縁にあわれました。皆が戻ってくるので出づらい時期でもあります。逆で若い方に仏さまのご縁を結ぶチャンスでもあるのですね。

全戦争死没者追悼法要

十五日夜席は、全戦争死没者追悼法要を勤修。今年、デビッド・マッキー絵・作『じろりじろり』としてけんかになるの』をプロジェクターでスクリーンに映して皆

鑑賞しました。

本当はみんな心のやさしいのですが、ちよつとしたことから黒いゾウと白いゾウに分かれて戦争がはじまります。お互い意地になって、結局ゾウはみんな死んでしまい、誰もいなくなりました。

しばらくしてジャングルの奥から灰色のゾウが出てきました。戦争を



みんな死んでしまいました。デビッドマッキー作絵『じろりじろり』としてけんかになるの』アリス館

嫌って逃げた白と黒のゾウが混ざって灰色のゾウになったのです。ゾウは平和に仲良く暮らしました。しかしどうでしょう、今度は耳の大きな灰色のゾウと耳の小さな灰色のゾウがもめはじめました。

ご意見・ご感想・寺報に載せる記事・原稿を募集しています。

宛先 〒737-0051
呉市中央 7-7-13 西教寺蔵本通支坊内
西教寺報編集局 宛
FAX 0823-21-2795
Email info@saikyoji.net



劇「親鸞・わが心のアジャセ」(主演 川崎麻世)が九月十三日呉市文化ホールで上演。写真はお世話役の堅徳寺住職